

令和4年度大田原市行政改革推進委員会 会議録

開催日時	令和4年8月3日（水）午後3時00分～午後4時00分
開催場所	大田原市役所本庁舎1階市民協働ホール
出席者	委員出席7名、欠席3名 大田原市 相馬市長 高橋副市長 篠山教育長 部課長21名、事務局3名

1 行政改革推進本部長（相馬市長）挨拶（要旨）

本委員会は、平成7年7月に団体推薦委員及び公募委員からなる大田原市行政改革推進委員会としてスタートし、社会情勢の変化に対応した効率的な行政運営ができるよう、市の行政改革の取組について市民の立場からご提言をいただいている。

本市では、3市町村合併後の新たな取組として、平成18年3月に行政改革の指針として、「第1次新大田原市行政改革大綱」を策定。大綱は5か年の計画期間であり、現在は令和3年度から令和7年度までを計画期間とする第4次の大綱に基づき、行政改革の取組を進めております。

本日は、第4次大綱の年度別実施計画に基づく令和3年度の取組実績について、ご審議をお願いするものである。本委員会からのご助言及びご提言を基に、市政を将来にわたって安定的に運営していくため、効率的かつ効果的に行政改革を推進すべく、取組を進めていきたい。

2 委嘱状の交付

任期：令和4年7月1日から令和6年6月30日までの2年間

3 議事

(1) 会長及び副会長の選出について

会長には国際医療福祉大学より推薦いただいた山本康弘委員、副会長には大田原市区長連絡協議会より推薦いただいた菊地孝行委員とすることで承認された。

(2) 大田原市行政改革年度別実施計画に基づく令和3年度実績について

資料：第4次大田原市行政改革大綱（令和3年度～令和7年度）に基づく行政改革年度別実施計画書

【事務局説明】

令和3年度から令和7年度までの5年間を第4次大田原市行政改革大綱の期間とし、3つの大項目を行政改革の重点項目として定め、具体的に20項目について行政改革に取り組み、取組担当課が項目ごとに定めた目標に対して、達成状況に応じてA～Dの自己評価（上段右側）を行っています。

令和3年度の評価につきましては、評価区分Aのものが15項目、Bが2項目、Cが1項目、Dが2項目でありました。

(以下、大項目ごとに事務局説明、質疑応答を行いました。)

■大項目1 市民との協働によるまちづくり

○小項目1 自主防災組織の推進

地域コミュニティで災害時の活動を行うことを目的とした自主防災組織結成の推進に係る取組です。

年度別目標について、①自主防災組織の新規結成数については年間10組織以上の目標に対し2組織、②自主防災組織等への出前講座(防災講話)の実施回数については年間10回以上の目標に対し7回の実績となっております。達成状況につきましては、組織結成の達成率が基準となっておりますので、①の達成率(20%)に基づき「D」評価となります。

なお、評価の要因としましては2点ございまして、1点目は自治会長が単年で変更となる場合、問題を後に回しがちであり、土砂災害警戒区域及び洪水浸水想定区域にも該当していないような災害が起こりにくい自治会については、新規結成への機運が上がりにくい実状が挙げられます。2点目は、自発的に結成する組織であるため、総会等具体的な検討の上で結成に繋がらない場合があります。そのため、今後はより広い区域を想定した地区防災計画の推進を図る予定です。令和3年については1計画成立しましたが、ほぼ自主防災組織に加入していたために自主防災組織の新規結成数は2に止まりました。

○小項目2 情報発信の充実

市政に関する情報を提供するため、より多くの市民に必要な情報が届くよう情報発信手段を充実させる取組です。

年度別目標について、①ホームページの年間アクセス数100万件以上の目標に対し188万8467件、②与一メールの登録者数9,000人以上の目標に対し14,068人、③市公式ツイッターフォロワー数1,800人以上に対し2,678人の実績となっております。達成状況につきましては、①～③の全ての目標を達成しているため「A」評価となります。

○小項目3 道路の里親制度の推進

道路の環境美化活動を推進する「道路の里親制度」の周知を促進する取組であります。

年度別目標について、①道路の里親数23団体以上に対し27団体、②道路の活動

総延長27.4km以上に対し27.4kmの実績となっております。達成状況につきましては、②の活動総延長の達成率（100%）により、「A」評価となります。

●質疑応答

<p>委員</p>	<p>小項目1「自主防災組織の推進」について、まず令和3年度は新規結成2組織の実績とのことだが、本実績の要因について伺いたい。また、自主防災組織の結成状況について、湯津上地区が13自治会中6自治会の結成と他の地区と比較して結成数が少ない状況となっているが、どのような要因が考えられるか。</p>
<p>危機管理課長</p>	<p>新規結成に係る取組について、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により各自治会において集会在困難な実情があった。令和4年度以降は活動の幅が広がると考えていたが、現在も思わしくない状況が続いているため、今後も感染状況を勘案して結成促進への啓蒙活動等、取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>湯津上地区の結成数に関しては、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域に該当する区域が少ないため、結成に向けた機運が高まりづらい実状がある。</p>
<p>委員</p>	<p>小項目1「自主防災組織の推進」について、現在は地区防災計画を1計画策定しているとのことだが、計画の策定に係る年次計画等はあるのか。</p>
<p>危機管理課長</p>	<p>具体的な計画等は策定していないが、今後も各自治会に対して普及啓発活動を行っていく予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>小項目1「自主防災組織の推進」について、令和3年度の実績はD評価とのことだが、現在の状況を鑑みると今後も達成が困難な目標設定と考えられる。目標値の再検討等、今後検討する余地はないのか。</p>
<p>危機管理課長</p>	<p>現状、全自治会166のうち123自治会で自主防災組織を結成しており、今後は自治会単位での結成促進は困難な側面もある。そのため、個々の自治会で結成が難しい場合は地区防災計画策定を推進していきたいと考えており、次年度以降の自主防災組織結成数の目標値については改めて検討したい。</p>

■大項目2 効率的な行政運営

※小項目が8項目あるため、小項目4から7まで、8から11までの2回に分けて事務局説明及び質疑応答を行った。

○小項目4 組織機構の見直し

新たな行政課題や住民ニーズの多様化への対応や事務の平準化を図るための組織機構の見直しを毎年度実施する取組です。

年度別目標について、部の見直し1部、課の見直し7課、係の見直し6係となっております。達成状況につきましては、4部署以上の見直しを実施しているため「A」評価となります。

○小項目5 定員管理の適正化

定員適正化計画に基づき、定年補充を抑制しつつ、年度別の採用人数を平準化することにより、総職員数を令和7年度までに4.4%削減する取組です。

年度別目標について、令和3年度4月1日時点の正職員数を560人以下に対し、560人の実績となっております。達成状況につきましては、目標値に対する達成率(100%)により、「A」評価となります。

○小項目6 業務の民間委託

公の施設における指定管理者制度の運用及び事務事業の民間委託を推進する取組です。

年度別目標について、①指定管理者制度の導入施設数14施設以上に対し14施設、②指定管理者への評価、助言及び指導の実施件数について、「改善の指示」件数0に対し2件の実績となっております。達成状況につきましては、②の評価基準に基づき「C」評価となります。

なお、評価の要因としましては、②の改善の指示について、1点目は黒羽中学校屋内温水プール（指定管理先：㈱フクシエンタープライズ）において、施設利用人数の計画目標未達成（達成率55.8%：20,000人に対して11,178人）のため、改善事項となっております。新型コロナウイルスの影響や、それに伴う休館（2か月間）が要因と考えられます。2点目は大田原市ふれあいの丘（指定管理先：学び・いきいき活躍推進グループ）において、植物育成管理業務（樹木・花壇管理）で改善事項が発生しております。本件について、令和3年度の指定管理は、指定管理者の指定を取り消す（令和3年4月30日付け）までの移行期間であり、通常の業務とは大きく異なる状況でありましたが、敷地や施設管理の面で十分に行き届いていなかったことが要因となっております。

○小項目7 ICTを活用した業務の効率化

ICTの活用により業務の効率化及び職員の負担軽減を図る取組です。

年度別目標について、①業務プロセスの見直し件数10件に対し10件、②ICTの活用により効率化した事務処理等の件数5件に対し7件の実績となっております。達成状況につきましては、①②共に達成しており「A」評価となります。

●質疑等（大項目2 小項目4から7まで）

【質疑なし】

○小項目8 事務事業の検証・改善

効率的かつ効果的な市政運営を行うため行政評価を実施し、その結果や成果を評価し、各種政策及び施策に反映させる取組です。

年度別目標について、行政評価の結果について、改善内容を次年度の事業に反映できた割合50%に対し77.2%の実績となっております。達成状況につきましては、評価基準に基づき「A」評価となります。

○小項目9 行政手続の利便性向上

全ての行政手続を対象に書面、押印及び対面の必要性を検証し、所要の見直しを行い、また、ICTの効果的な活用により公金収納等の手続に係る市民の利便性の向上を図る取組です。

年度別目標について、①オンライン化の手続数6件に対し75件、②オンライン化対象手続利用件数17,000件に対し88,385件の実績となっております。達成状況につきましては、①②共に達成しており「A」評価となります。

○小項目10 職員提案制度の充実

職員が改善を自由に提案する「職員提案制度」を充実させ、職員の政策立案能力及び市政の効率的な運営及び行政サービスの向上を図る取組です。

年度別目標について、①職員提案の提出件数7件以上に対し8件、②優良提案の件数2件以上に対し8件の実績となっております。達成状況につきましては、①②共に達成しており「A」評価となります。

○小項目11 職員の働き方改革

職員のワーク・ライフ・バランスの実現により、高いモチベーションを維持できる職場環境を作る取組です。

年度別目標について、月30時間を超えて時間外勤務を行った職員数（延べ人数）186人以下に対し204人の実績となっております。達成状況につきましては、基準に基づき（数値目標に対し増加率10%の範囲内）「A」評価となります。

●質疑等（大項目2 小項目8から11まで）

〔質疑なし〕

■大項目3 効率的な執行体制の確立

※小項目が9項目あるため、小項目12から16まで、17から20までの2回に分けて事務局説明及び質疑応答を行った。

○小項目12 財政の健全化

厳しい財政状況に対応した中期財政計画の見直しを図り、財政の健全化を推進する取組です。

年度別目標について、①市債残高184億円以下に対し158億9,655円、②財政調整基金残高10億円以上に対し13億1,372円、③経常収支比率前年度（96.4%）以下に対し89.2%、④実質公債費比率13.3%以下に対し6%、⑤将来負担比率110.3%以下に対し51.9%の実績となっております。達成状況につきましては、①～⑤の全ての目標を達成しているため「A」評価となります。

○小項目13 市税等の徴収率（収納率）の向上

自主財源を確保するため市税等の徴収率の向上を図り、関係機関と連携し未申告者への対策を強化する取組です。

年度別目標の徴収率について、①市税は99.6%、②国民健康保険税は97.1%、③介護保険料は95.8%、④保育料は99.1%、⑤市営住宅・市有住宅使用料は97.6%の実績となっております。達成状況につきましては、①②③⑤は「A」評価、④は「B」評価となり、小項目全体の評価は「B」評価となります。

○小項目14 公共施設の計画的な見直し

施設の更新、統廃合、長寿命化等を計画的に実施し、適正配置及び財政負担の軽減及び平準化を図る取組です。

年度別目標について、大田原市公共施設個別施設計画に基づく、更新、統廃合、長寿命化を実施した建物の棟数12棟に対し、12棟の実績となっております。達成状況につきましては、基準に基づき「A」評価となります。

○小項目15 市有財産の有効活用

遊休資産の公売、払下げ処分及び貸付けによる利活用を積極的に実施し、自主財源の確保と維持管理経費の節減を図る取組です。

年度別目標について、①遊休資産の処分件数10件以上（不動産3件、動産7件）に対し30件（不動産12件、動産18件）、②遊休資産の売却額1,500万円以

上に対し1億3,076万9,257円の実績となっております。達成状況につきましては、①②共に達成しており「A」評価となります。

○小項目16 市単独補助金の適正化

団体運営費及び事業費補助金を対象に「大田原市補助金制度に関する基本指針」の統一的な基準により、補助金の適正な運用を図る取組です。

年度別目標について、補助金現況調書による検証実施率100%に対し、100%が実績となっております。達成状況につきましては、基準に基づき「A」評価となります。

●質疑応答（小項目12から16まで）

委員	小項目13「市税等の徴収率（収納率）の向上」について、各年度の数値目標について、各項目100%と記載しているが、達成状況の基準としては前年度以上が目標となっている。標記として分かりづらいため、前年度の徴収率を数値目標の欄（現在100%と記載している部分）に記載する等工夫は出来ないか。また、数値目標の100%は非常に厳しい設定だが、どのように考えているか。
事務局	前年度の実績については、対比ができるように標記を工夫したい。数値目標（100%）については、今後検討していきたい。
委員	達成状況の評価基準についても、前年度を目標値とすると、例えば市税については令和5年度99.6%以上が基準となるため、こちらも厳しいものとする。併せてご検討いただきたい。

○小項目17 経費の節減

本庁舎内電気の使用量の抑制、ペーパーレス化の推進、備品・消耗品の無駄のない使用等により経費の節減を図る取組です。

年度別目標について、①本庁舎の電機使用料の削減：令和元年度比2%の削減に対し7.9%増、②ペーパーレス化の推進によるコピー用紙の削減：前年度比0.7%の削減に対し13.9%の増という実績となっております。達成状況につきましては、①②共に未達成ですので「D」評価となります。

なお、評価の要因としまして、①の本庁舎の電気使用料の増加については、新型コロナウイルスワクチン接種の業務開始に伴い、土日等に庁舎を開庁したことによる増加分と考えられます。また、②のコピー用紙の増加分については、新型コロナウイルス関連事業（ワクチン接種業務・各種給付金等業務）の実施に伴う増加分と考えられます。

○小項目18 税外収入の確保

広告事業やふるさと納税寄附金の受入れにより財源を確保し、税外収入の積極的な確保に取り組むとともに、利用する者と利用しない者との差を考慮した「市民負担の公平性」を確保するため、使用料及び手数料の見直しを行う取組です。

年度別目標について、①広告事業（ホームページバナー、ネーミングライツ）による収入の確保：新規実施2件に対し5件、②広告事業（広告入り公用封筒、ガイドブック等の無償提供）による歳出の削減：新規実施2件に対し0件の実績となっております。達成状況につきましては、基準に基づき「B」評価となります。

○小項目19 水道事業の経営健全化

大田原市水道事業ビジョン及び大田原市水道事業経営戦略に基づき、水道事業の健全化を図り、水道施設の適正管理を行う取組です。

年度別目標について、①現年度分の水道料金の徴収率100%に対し99.92%、②水道有収率82.6%以上に対し86.0%の実績となっております。達成状況につきましては、①②共に達成しているため「A」評価となります。

○小項目20 下水道事業の経営健全化

大田原市下水道事業経営戦略に基づき、下水道の整備促進と適切な維持管理及び下水道事業の経営健全化を図る取組です。

年度別目標について、①現年度分の下水道使用料の徴収率100%に対し99.77%、②現年度分の下水道事業受益者負担金の徴収率100%に対し98.51%、③下水道水洗化率93.53%以上に対し94%の実績となっております。達成状況につきましては、①～③全て達成しているため「A」評価となります。

●質疑等（大項目3 小項目17から20まで）

【質疑なし】

(3) その他

●委員からのご意見等

委員	小項目16「市単独補助金の適正化」について、A評価となっていることについて問題があるわけではないが、本計画書では検証の内容を確認することができない。適正化が図れているかどうか、担当課において検証するとなっているが、担当部署において適正化の判断を行うわけではないのではないか。
財政課長	実際の検証においては、「大田原市補助金制度のに関する基本指針」において検証するための様式を設けている。毎年度予算の算定

委員	時に、本様式に基づき担当部署において予算要求し、財政課で全ての補助金の検証を行った上で予算措置をしているため、適正な予算措置がされているという意味で検証実施率を 数値目標としている。
委員	1種の補助金について考えても、毎年度事業の状況が変わる可能性があると思う。
財政課長	毎年度検証を行っているため、変化した状況を把握した上で予算措置を行っている。
委員	本指針は公開されているのか。どのような内容か確認できればと思う。
財政課長	内部資料なので現在は公開していない。
会長	指針の公開については今後ご検討いただきたい。また、本項目については、単に検証を行っているだけではなく、あらかじめ定めた項目に基づき必要性等について検証し、各補助金の適正性を判断しているという理解でよいか。
財政課長	本課としてもそのように考えている。
委員	市が行っている行政改革への取組については、本計画書に定められている項目が全てではないと考える。本計画書以外の取組についても、各年度の特筆すべき取組等があれば、トピックスとして取り上げることによって行政の盛り上がりにも繋がると考えるため、今後の検討としていただきたい。
経営管理部長	ご意見のとおり、今後検討していきたい。

<事務局からの連絡事項>

- 本日審議いただきました令和3年度の取組実績について、9月の市議会の全員協議会へ報告するとともに、市広報10月号及び市ホームページにて市民の皆さまに公表します。また、本日の会議録を委員の皆さまへお送りします。
- 今年度の会議は、本日の1回のみでの予定。来年度も7月下旬から8月上旬を目安に推進委員会の開催を予定しているため、引き続きよろしく願いいたします。

閉会：午後4時00分